

平成 25 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

記

1 協力を得た業界団体及び事業者

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| (1) 丸果札幌青果(株) | (5) 札幌地方石油業協同組合 |
| (2) カネシメ高橋水産(株) | (6) ホクレン農業協同組合連合会 |
| (3) 札幌食肉卸業協会 | (7) 北海道製麺協同組合 |
| (4) (一社)北海道 LP ガス協会石狩支部 | (8) 日糧製パン(株) |

2 調査時期

平成 25 年 12 月上旬 (平成 25 年 12 月 4 日、上記 (1) ~ (4) の 4 団体と懇談会を実施)

3 概要

(1) 青果物

調査品目の 18 品目中、前年並みは 4 品目、高値・やや高値は 14 品目であった。

10 月に本州に上陸した大型台風による入荷の減少により全体的にやや高値となる見込み。

(2) 水産物

調査品目の 14 品目中、前年並みは 4 品目、高値・やや高値は 10 品目であった。

「秋さけ」は、水揚げが昨年より 20%強多かったが、いくらで決まるので前年並みとなる見込み。なお、調査品目ではないが、「たい」についてはやや安値、刺身用の「サーモン」は高値となる見込み。

(3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、前年並みは 1 品目、高値・やや高値は 6 品目であった。

例年、旬の大衆魚が出回る秋口には、肉の売れ数が落ち込むので、年末在庫を確保できているが、今年は大衆魚の価格が肉の価格を上回ったこともあり、肉の売れ行きが好調で、年末在庫を確保できず、品薄となっていることから、全体的に価格は高めとなる見込み。

(4) その他食料品

黒豆はやや安値、もち米、生そば、ラーメン、パンは前年並みであるが、そば粉はやや高値、鶏卵、小麦粉は高値となる見込み。

(5) 石油製品

全ての石油製品について、円安となったことで輸入に係るコストが増加し、前年と比べ、やや高値となる見込みであるが、在庫量は十分にあり供給不足の懸念はない。

平成 25 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

(札幌市消費者センター)

	安 値	やや安値	前年並み	やや高値	高 値
青果物			きゅうり 長ねぎ 生しいたけ ほうれん草	ごぼう・里いも さつまいも だいこん たけのこ (缶詰) にんじん はくさい ばれいしょ みかん・みつば れんこん	きゃべつ たまねぎ レタス
水産物		たこ (アフリカ産)	新巻さけ 板かまぼこ はまち まぐろ	味付数の子 いくら・いか 飯寿司・こんぶ スモークサーモン たらばがに	赤えび たこ (国内産) ほたて
畜産物			ロースハム	輸入牛肉 輸入豚肉 輸入鶏肉	国産牛肉 国産豚肉 国産鶏肉
その他 食料品		黒豆	生そば・もち米 パン・ラーメン	そば粉	鶏卵 小麦粉
石 油 製 品				灯油・軽油 レギュラーガソリン プロパンガス	

※ 価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比±5%未満
- やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満
- 安値・高値 = 前年同期比±15%以上

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青	きゅうり	前年並み	宮崎産主力の入荷で作付は前年並み。ハウス物の作況は気温の寒暖差の変動にもよるが、大きな落ち込みは無い見込み。価格は前年並みが見込まれる。
	長ねぎ		群馬、埼玉、茨城、秋田産主力の入荷。（群馬、埼玉、茨城産）作付は前年並み。作況は台風の影響もあるが、概ね順調。（秋田産）作付は前年並み。作況は天候不順により、やや遅れも回復傾向にある。入荷は前年並みからやや増加が見込まれる。
	生しいたけ		石狩、胆振、十勝、根室地方中心の入荷で、作付は前年並み。作況は生育良好で前年並みの入荷の見込み。価格は前年並みが見込まれる。
	ほうれん草		群馬、埼玉産主力の入荷で、作付は前年並み。台風の影響で露地作型の作況が良くないため、入荷の少なかった前年並みとなる見込み。価格は前年並みが見込まれる。
果物	ごぼう	やや高値	石狩、後志、十勝、胆振地方中心の入荷。生育期の天候不順のため、太物が少なく、M中心の入荷の見込み。太物は前年より単価高、細物は前年並みとなることが見込まれる。
	里いも		宮崎、熊本、鹿児島、埼玉産主力の入荷である。（宮崎県産）面積減少及び高温・干ばつのため、生育不良・小玉傾向による入荷減少の見込みで、赤芽、セレベス等も減少傾向である。（埼玉県産）高温・干ばつの影響も少なく、入荷は順調な見込み。
	さつまいも		茨城、徳島産主力の入荷。（茨城産）生育期の天候不順のため、入荷の減少が見込まれる。価格は前年よりやや高値の見込み。（徳島産）生育期の天候に恵まれ順調であり、平年並みの入荷が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	だいこん		千葉、神奈川、静岡産主力の入荷。（千葉・神奈川産）作付は前年並み。作況は生育期の台風により生育不良。入荷はLが中心で、入荷量は前年よりやや減少することが見込まれる。（静岡産）作付は前年並み。台風による大きな被害は無いものの、若干の生育遅れが見られ、12月下旬から入荷予定となっている。
	たけのこ (缶詰)		中国産中心の入荷。中国産の入荷量は前年並みとなる見込みで、価格はやや高値が見込まれる。国産は入荷量が少なめで、価格はやや高値が見込まれる。

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青	にんじん	やや高値	千葉、茨城、埼玉、熊本産中心の入荷。千葉産が主力産地であるが、生育不良が見られ、入荷減少の見込み。集中的な豪雨が今年もあり、栽培する田畑による生育のばらつきが見られる。価格はやや高値が見込まれる。
	はくさい		茨城産主力の入荷で作付は前年並み。作況は台風の影響が多少あるものの良好である。入荷量は平年並みが見込まれる。
	ばれいしょ		後志、十勝、空知、石狩等道内全域より貯蔵物の調整出荷がある。作付は平年並みであるが、前進出荷傾向で貯蔵量は平年より少なめとなる見込み。価格はやや高値が見込まれる。
	みかん		和歌山産主力で佐賀産ほかの入荷。今年は表年となるが9月の台風等の影響により、落果、規格外等の発生が多く、市場流通の数量は前年並みの見込み。 (和歌山産) 10月以降の雨の影響により玉太りし、M、L中心の入荷が見込まれる。(佐賀産) 面積の80%以上にマルチを敷いているので、他産地から比べると若干小玉でM>S>Lの入荷となる見込み。
	みつば		(軟白みつば) 作付面積は前年並みであるが、干ばつ、夏場の長雨の影響で一部の産地で作況不良が見受けられる。(水耕みつば) 作付、作況ともに前年並み。(刈りみつば) 作付は減少傾向である。干ばつ、夏場以降の長雨の影響で作況不良が見受けられる。
	れんこん		茨城産主力の入荷で作付は前年並み。作況は生育良好である。入荷量は前年並みとなる見込みで、価格も前年並みとなることが見込まれる。
物	きゃべつ	高値	愛知、上川地方主力の入荷。(愛知産) 作付は前年並み。作況は台風26号の影響により、まき直し等の若干の被害がある。入荷量は平年並み。(上川地方産) 作付は前年よりもやや減少する見込みだが、大玉傾向であるため、入荷量は前年よりやや増えることが見込まれる。
	たまねぎ		空知、石狩、上川、網走、十勝等より入荷。全道的な不作と小玉による減収により、入荷量は減少する見込み。価格は高値相場での推移が見込まれる。
	レタス		静岡、兵庫、香川主力の入荷で、作付は前年並み。各産地とも定植期の干ばつ、生育期の長雨、台風等により作柄はやや不良で、入荷は不安定となることが見込まれる。

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	新巻さけ	前年並み	北海道の秋鮭の水揚げは型の回復もあり、数量で前年比20%強多い予想であるが、いくら製品の高値などの要因で贈答用の新巻さけの価格は前年並みとなることが見込まれる。
	板かまぼこ		すり身の原料は10円くらい上がっているが、製品単価には影響がない見込みである。
	はまち		価格は昨年ほど下がらないが、原価割れの出荷販売となることが見込まれる。
	まぐろ		漁獲制限や漁獲量の減少で輸入量は減るが、価格は前年並みで推移している。
産物	味付数の子	やや高値	太平洋産数の子は前年並みであるが、大西洋産数の子が前年と比べてやや高値である。
	いくら		いくら製品は浜高で推移している状況。
	いか		日本海不漁と原料の不足による品薄から、価格はやや高めになると見込まれる。
	飯寿司		年末の売れ筋である秋鮭の原料（アメリカ産）が高騰していることにより、製品単価はやや高値となることが見込まれる。
	こんぶ		日高昆布の生産量が少ないため、製品価格が昨年より2～3割高くなっている状況。
	スモークサーモン		輸入原料を扱う製品は高値となっているが、北海道産鮭を扱う製品は前年並みの価格となっている状況。

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	たらばがに	やや高値	ロシアからの搬入減、昨年物の在庫も減少し、相場は上げ基調となっている。
	赤えび	高値	価格は、ロシア産が昨年末から150%~200%の高騰、アルゼンチン産も昨年末から150%高騰しており、在庫量は搬入量の多いロシア産は昨年と同じくらいであるが、アルゼンチン産はやや減少している。
物	ほたて		輸出が好調で冷凍も堅調に荷動きしていることから、例年より高値になると予想される。
	たこ	高値 (国内産) やや安値 (アフリカ産)	水揚げが不安定なことや冷凍品の浜在庫も少ない状況から、国内産の価格は高値で推移しているが、アフリカ産はやや安値となる見込み。

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
畜産	ロースハム	前年並み	ハム・ソーセージの中でもロースハムのシェアは高く、便利な使いきりタイプの商品が主力である。年末年始はこれに加え、ブロックものの需要も増加する。
	輸入牛肉	やや高値	諸外国、特に中国を中心としたアジア諸国の購買意欲が強く、アメリカ・オーストラリアの現地高。さらに為替で円安になったことでコストが高くなり、高値相場は年明け後も続く見込みである。
	輸入豚肉		アメリカ現地での豚バラの需要が高く、日本向けの価格が高騰している状況。加えて為替の件もあり、輸入価格が全体的に高値で推移している。
	輸入鶏肉		現地高と円安による輸入コストの増加による買い付け量が減少したことで、国内在庫がひっ迫状態になっており、相場高が続いている状況。
物	国産牛肉	高値	口蹄疫、東日本大震災による農家戸数の減少から、子牛が減少し、素牛価格が高騰していること、飼料価格が高値になっていることにより、牛全ての相場が高くなっている状況。
	国産豚肉		輸入豚肉の入荷減及び現地価格が高騰していることから国産豚肉の需要が伸びていることと各パーツの冷凍在庫も少なく供給不足となり、安い販促価格での提供ができなくなることが見込まれる。
	国産鶏肉		猛暑による個体の体重減と台風の影響等で商品不足のまま年末へ突入するので、加工向けや冷凍品も不足気味であり、最需要期の年末に向けては、さらなる品不足・高値が見込まれる。

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その の 他 食 料 品	黒豆	やや安値	指標面積を超える作付があり、収量も平年を上回ることが見込まれることから、価格は前年より下回ると見込まれる。
	生そば	前年並み	スーパー等の小売が価格変更に応じないため、価格が据え置きになっている状況。
	もち米		主産地の作柄は、九州の不良が見込まれるものの、生産量の最も多い北海道が良であり、全国需給についても前年産の繰越在庫が増加傾向にあることから、末端価格は前年並みかやや下降傾向になるものと見込まれる。
	パン		原料高ではあるが、消費者、店舗の低価格志向が強く、価格は前年並みが見込まれる。
	ラーメン		原材料の価格上昇があったにも関わらず、小売市場においての競争原理及びデフレの影響で価格は前年並みが見込まれる。
	そば粉		やや高値
	鶏卵	高値	お盆までの相場は安値で推移したが、お盆以降は全国的に需給が引き締まり、高値で推移している状況。年末に向けて、需給はさらに引き締まると見込まれることから、相場は高値で推移すると見込まれる。
	小麦粉		小麦は円安の影響もあり、今年は政府小麦売渡価格が4月と10月の2度にわたる価格改定で値上がりが続いており、価格は高値となること見込まれる。

平成25年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
石 油 製 品	灯油	やや高値	価格高騰のため節約志向が進み、需要が減退しているため、供給不足となる懸念はない。
	レギュラー ガソリン		価格高騰のため節約志向が進み、需要が減退していることに加え、次世代型自動車普及の影響により販売数量の落ち込みが著しいため、供給不足となる懸念はない。
	軽油		価格高騰のため節約志向が進み、需要が減退しているため、供給不足となる懸念はない。
	プロパンガス		輸入価格の上下動並びに為替変動による影響があり、価格はやや高値で推移すると見込まれる。供給量は確保されており、供給不足となる懸念はない。